

進行/再発 胃癌

HXP療法レジメン

HER2陽性の切除不能な進行・再発胃癌 ハーセプチン+シスプラチン+ゼローダ併用療法

G-09-①

< 3週間間隔 × PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5~14日目	第15日目	第16~21日目	第22日目
治療内容									
検査	採血	○							○
診療	副作用の問診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	-	-	-	-				-
ポスト Medikation	デカドロン錠 (0.5) 16錠 分2 朝昼食後		↓	↓	↓				
内服薬	ゼローダ初回量 回1000mg/m2を1日2回朝夕食後 【2週間投与し1週間休薬】	↓ 夕食後	↓↓ 朝・夕 食後	↓↓ 朝・夕 食後	↓↓ 朝・夕 食後	↓↓ 朝・夕 食後	↓ 朝食後	休	↓ 夕食後
	皮膚症状予防のためのピドキサール錠 (ビタミンB6) 投与について・・・シスプラチンとビタミンB6の併用によりシスプラチンの効果が減弱するとの報告あり、注意してください。								
点滴	①生理食塩液50ml ルートキープ用	↓							↓
	②ハーセプチン 8mg/kg (初回のみ) +生理食塩液250ml 点滴静注【90分】	(↓)	副作用などの理由で予定していたハーセプチン投与が遅れ、投与予定日より1週間を越えた後に投与する場合は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与すること。						
	②ハーセプチン 6mg/kg +生食250ml (2回目以降) 点滴静注【初回忍容性良好で30分以上】	↓							↓
	③生理食塩液50ml ルートフラッシュ用 (全開)	↓							↓
	④ラクテック 500ml +アロカリス 235mg 1V +パロノセトロン 0.75mg 1V +デキサート 3.3mg 3A 点滴静注【1時間】	↓							↓
	⑤KN1号 500ml +硫酸マグネシウム 8ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
	⑥マンニトールS 300ml 点滴静注【30分】	↓							↓
	⑦生理食塩液 500ml +シスプラチン 80mg/m2 点滴静注【2時間】	↓							↓
	⑧KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
⑨KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓							↓	

ゼローダ減量時の1回投与量

体表面積	初回1回投与量 (錠数)	減量段階1	減量段階2
<1.36m ² 未満	1200mg (4錠)	900mg (3錠)	600mg (2錠)
1.41m ² 以上1.51m ² 未満	1500mg (5錠)		
1.56m ² 以上1.66m ² 未満	1800mg (6錠)	1200mg (4錠)	900mg (3錠)
1.71m ² 以上1.81m ² 未満			
1.86m ² 以上1.96m ² 未満	2100mg (7錠)	1500mg (5錠)	1200mg (4錠)
2.01m ² 以上2.11m ² 未満			
2.11m ² <			

看護のPoint!!

アレルギー反応 (発熱・悪寒・呼吸困難などの違和感など) が、特に初回起こりやすい。投与中と投与後24時間以内は特に注意。
 初回ハーセプチンの投与時間は90分以上かけてね。早すぎはアレルギーのもと。
 初回投与で十分な容認性があれば (問題なければ) 2回目以降の投与時間を30分間にできる。
 シスプラチンの腎障害予防のため、水分摂取を行ってもらうことと、利尿の確保。尿測するかどうか指示を確認。
 硫酸マグネシウムは腎障害予防のため。
 吐き気強いので、アロカリス+パロノセトロン+デキサートのフルセット! デキサートが4日間ある。糖尿病の人は要注意。